

(第 7 期) 第 4 回市川市環境市民会議について

1. 開催日時 令和 2 年 10 月 29 日(木) 15 時～17 時 30 分

2. 開催場所 市川南仮設庁舎 1-1、1-2 会議室

3. 出席者 公募市民 8 名、事業者 2 名

4. 会議内容

(1) 前回の振り返り・スケジュールについて

- ・第 3 回環境市民会議(令和 2 年 2 月 6 日)を振り返り、地球環境及び自然環境に関するグループワークで提案のあった意見内容を確認した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大を受け、市民会議の開催スケジュールを変更したため、計画最終案を取りまとめるまでの流れについて、改めて説明した。
- ・令和 2 年 9 月 19 日～10 月 19 日に実施したパブリックコメントについて、意見概要と市の考え方や対応を取りまとめ、公表する旨を報告した。

(2) グループワークの結果について

① 生活環境

「快適で魅力あるまちづくりを考える～街なかでの緑を増やすには～」をテーマに設定し、身の回りや緑の少ない中心市街地において緑を増やすため、住宅や事業所等の建築物や露天駐車場等、沿道の民有地の緑化をいっそう推進するには、市民・事業者・市は何ができるのかアイデアを頂いた。

② 協働

「協働によるこれからの環境学習等の推進について」をテーマに設定し、各世代を対象とした行動につながる環境学習やイベントにはどのようなものが考えられるのかアイデアを頂いた。

また、それらの実施にあたり、市民・事業者・市の各主体はどのような関わり方ができ、三者が一体となった取り組みとしてどのようなものが考えられるのかアイデアを頂いた。

【賛同の多かった意見】

生活環境	協働
・固定資産税(土地税制)を優遇し、緑化を推進する。(4 票) ・緑化可能な市内の空き地をマッピングすることから始めてはどうか。(3 票) ・緑化後のアフターフォローの体制を整えるため、剪定補助システムを導入する。(3 票) ・事業所の緑化率に応じて減税をする。(2 票) ・緑の環境を楽しめる行事を催す。(2 票) ・様々な記念日(誕生、卒業、結婚、死去等)に記念樹を植える。(2 票)	・環境学習イベント(野草を食べる、季節ごとの自然観察、稲作を通じての環境学習、「農」による環境教育)を実施する。(4 票) ・中学生や高校生に、市内のリサイクル工場を見学してもらう。(3 票) ・学校で環境部(部活動)を作って活動し、市・市民・事業者が継続して接点をもてるようにする。(3 票) ・農業、漁業、林業等の実地体験をする。(3 票) ・出前授業で汚れた現場(路上、河川等)を見せ、考えさせる。(2 票) ・環境負荷を減らすアイデアコンクールを小学生～大人まで開催し、部門を設けて表彰する。(2 票)

【その他の提案のあった意見】

① 生活環境

- ・都市施設内での植樹運動を推進する。
- ・行政と JA のコラボで、休耕農地の活性化利用を進める。
- ・住宅ガーデニングコンテストを開催し、個人宅の庭の写真を市のホームページに掲載し、表彰する。
- ・公園の一部を無料で貸し、その管理を委ねる。
- ・利用されなくなった土地を緑地化する。
- ・建築業者がクライアントに提案する際に、市の助成金があることを伝える。
- ・建築メーカーやリフォーム業者向けの助成制度に関する説明会を市が開催する。
- ・緑化のボランティアを組織化し、途中で活動が途絶えないようにする。
- ・風致地区での生垣緑化指導を強化し、保全管理のためにシニアの人たちを組織する。
- ・モデル地区を作り、緑化を進める。

- ・グリーンインフラの手法を積極的に導入する。
- ・広報いちかわ、市長や部長による説明、SNS の活用、自治会(掲示板)での周知等により、一般市民に助成制度を広める。

② 協働

- ・親子で参加できる環境イベントで、活動成果の発表と表彰をする。
- ・環境フェアで、子どもたちのブースを設ける。
- ・川崎市の例を参考にごみ分別教室を開催し、ごみは分別することで資源となることを知ってもらう。
- ・食べることは、どんな物も「命」を頂いている大切さを分かってもらう。
- ・各家庭で行っている環境活動を学校内で情報共有し、活動を広げる。
- ・単発の授業だと継続性がないため、学校を教材化(コンセプト)して、継続的に関心を持てるようにする。
 - ⇒①施設の屋根に太陽光パネルを乗せ、発電量がすぐ目で分かるようにする。
 - ②学校にコンポストを設置して生ごみをたい肥化し、花壇等にまく。
 - ③校舎で「省エネプロジェクト」を開催する。生徒がグループワークで調査し、省エネ診断士の助言も受ける。
- ・市で PR バスを導入し、移動展示や環境活動の動画を流す。
- ・自治会向けの環境学習を市職員や、環境活動推進員が実施する。
- ・中学や高校で「環境学習の日」を設ける。
- ・教育委員会等と連携して学習メニューを考える。
- ・地球 46 億年の歴史を学べる、地球パビリオンを建設する。
- ・近隣市(浦安市、船橋市等)と連携し、潮干狩りや梨狩りなど、互いにはない環境を活かしたイベントを実施する。
- ・環境ボランティアとして、ごみ拾い、川の掃除、生物調査等を行う。